

2023年

2024年

10.21(土) - 2.18(日)

exhibition Based on the Li Dynasty in EHIME Folk Crafts Museum

企画展

柳宗悦「美」の原点

李

朝

をもとに

えひめの陶工3名の取り組み。

主催：公益財団法人 愛媛民藝館

後援／愛媛県・愛媛県教育委員会・砥部町・砥部町教育委員会・愛媛新聞社・朝日新聞松山総局

読売新聞松山支局・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ

愛媛CATV・ハートネットワーク・FM愛媛・西条市・西条市教育委員会



右：李朝染付小壺

開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日／毎週月曜(祝日の場合は翌日、翌々日)

観覧料／大人200円、中高生100円、小学生50円、団体割引30名様以上半額

スポンサー会員と同伴者・民芸協会員・友の会会員と同伴者1名は無料

愛媛民藝館

EHIME Folk Crafts Museum

李朝

2023年10.21(土) — 2024年2.18(日)

をもとに

14世紀末から500年以上続いた朝鮮王朝の時代には、陶磁器、木工、石工、金工、民画など優れた工芸品が数多く誕生した。大正末期に「民芸」という言葉を作りだした宗教哲学者・柳宗悦も、友人の浅川巧から手土産として渡された李朝の「染付秋草文面取壺」を前に、これまでの自分が抱えてきた美への眼差しが一変、後の人生に多大な影響を及ぼすほど深く感銘を受けた一人である。当時の日本で美の象徴といえば、煌びやかな装飾が施された美術工芸品であったが、その一方で李朝のような民衆の手によって生みだされた工芸＝民芸のなかにも、美術工芸品に勝るとも劣らない美しさが宿るとし、民芸品を生み出す自然や風土、歴史、そこに暮らす人々の営みまで心を寄せた。無名の職人による日々の暮らしのために作られた李朝の工芸品は、大らかで造形が美しく、時を経た今もなおモノづくりに携わる多くの職人たちが憧れ、真似し、作品に反映されながら脈々と受け継がれている。

本展では、主に所蔵品の中から李朝の工芸品と李朝の流れを汲んだ砥部焼の北川毛の器を展示、そしてそれらをもとに新たな挑戦を続ける愛媛の陶工、池本惣一・宮内太志・長戸裕夢の取り組みに焦点を当て紹介する。

池本惣一・宮内太志・長戸裕夢 作陶展



(写真左から) 盃 / 長戸裕夢・水滴 / 宮内太志・盃 (中央) / 池本惣一
蓋物 / 池本惣一・水滴 / 長戸裕夢・小瓶 / 宮内太志

展示即売会

関連イベント ※お申し込みはInstagramのダイレクトメッセージかお電話で

■ 作り手3名によるギャラリートーク
2023年10月21日(土) 13時半～
定員20人

■ 講演会
2023年11月4日(土) 13時半～15時
「柳宗悦がつないだ日本と韓国」
講師：梶谷崇氏 (北海道科学大学未来デザイン学部人間社会学科教授)
日韓文化交流をもとに柳宗悦と朝鮮との関係をはじめ、工芸品や思想、歴史について。
定員20人



アクセス

- ◆ 松山自動車道 「いよ西条インタ」より車で約15分
- ◆ JR予讃線 「伊予西条駅」より車で約5分
- ◆ せとうちバス 「西条市役所前」下車徒歩約3分
- ◆ 駐車場 15台 (五百亀記念館の駐車場もご利用いただけます)

愛媛民藝館

EHIME Folk Crafts Museum



朝鮮石器手付壺



李朝石火鉢



朝鮮石佛



李朝草絵漏斗口徳利



李朝瑠璃小壺



李朝白磁小壺



李朝祭器